

平成 31 年度

事業報告

(公財) 盛岡地域地場産業振興センター

平成31年度 事業報告

自 平成31年4月 1日
至 令和 2年3月31日

<事業の概況>

公益財団法人盛岡地域地場産業振興センターは、盛岡地域の自然と歴史、伝統の中で育んできた地域の文化に由来する地場の産業振興を目的として、令和元年度も積極的に盛岡広域8市町と連携し、公益目的事業の核となる地場産品紹介普及啓発、体験学習、地場産品の資料展示や人材育成事業による後継者育成などの公益事業を実施しました。また、運営安定を図るための収益事業としては、アロニアを使ったサイダーを開発しマスコミを通じて宣伝周知を図ったほか、南部鉄器協同組合や自動販売機業者及び一般の方々へ施設賃貸を行いました。7月には閉店していた食堂に新たに地元の婦人団体で組織した食堂「味ろく茶屋」をオープンさせ、県内外の観光客に対し、郷土料理などの提供を行いました。更には地域外で生産されている集客性の高い商品の販売も積極的に実施するとともに、PayPayの導入を行い利用者の利便に努めました。その他、行政等の支援事業を活用し、専門家による工芸品制作事業者の技術向上支援を行ったほか、工芸品制作職人による工芸品フォーラム及び若手職人交流会を開催するなど、ものづくりに携わる職人の育成を行いました。更には大都市である東京にて3回に渡り「盛岡の伝統工芸品展」を開催するなど公益事業との連携を図り、地場産業の振興に努めました。

1. 地場産業振興事業（公益目的事業）

地場産品の普及啓発及び伝統工芸品の振興を図るため、手づくり体験を通じて後継者の育成、盛岡地域の地場産業への理解を深めていただく展示資料室運営等を公益事業として積極的に推進しました。

（1）地場産品紹介普及啓発事業

盛岡広域で生産される国指定伝統的工芸品や工芸品、食品等の地場産品を国内外の消費者に広く紹介し普及啓発を図るとともに、盛岡で開催される各種全国大会の会場で「地場産品の販売」を実施し積極的な地場産品の紹介、宣伝を行いました。また、展示即売室では広域8市町の選りすぐりの商品を「逸品コーナー」において紹介したほか、新商品の紹介等を行いました。

① 展示即売事業

- ・盛岡広域逸品コーナーの活用

展示即売室内の「盛岡広域ベストセレクション」コーナーにおいて、盛岡広域8

市町の食品、工芸品の紹介を行い、展示品の訴求力を高めました。

- ・うるま市友好都市交流コーナーの設置
盛岡市の友好都市・うるま市をパネルやパンフレットで紹介したほか、特産品である「泡盛」を店舗において常設展示販売を行いました。
- ・免税店の運用
平成28年2月22日に開設した免税店において、免税対応に当たりました。来村客の国別データを取り、出展事業者に情報提供したほか、旅行代理店や宿泊関係機関、報道機関へ情報提供し、利用の周知に努めました。
- ・ポスシステムの運用
展示即売室ポスシステムの情報に基づき、各出展者に対して、販売状況や施設外での販売計画や概要について、情報の提供を毎月、定期的に行いました。
- ・季節的に商品需要が高まる6月の中元、12月の歳暮の時期に対応し、即売室内にギフトコーナーを設けるとともに、カタログを作成し地場産品の普及に努めました。
- ・ロビーを活用し、岩谷堂筆筒の入札会を季節の催事ごとに実施し、県内外のお客様に対し、岩手の伝統的工芸品を紹介宣伝しました。
- ・盛岡市観光交流課の事業で設置した電子掲示板を活用し、来場者に対し、盛岡地域の観光・物産の紹介宣伝を行いました。
- ・修学旅行お土産コーナーを設置し、修学旅行生へ事前に「修学旅行お土産最適品リスト」を配布し、スムーズなお買い物への対応を行いました。
- ・試食試飲販売を随時実施し、展示品の品質の良さ、特徴を説明し、実感してもらいながら展示品の普及に努めました。
- ・お買い上げ感謝抽選会を開催し、購買意欲の誘発に努めました。(5月、8月、10月、1月)
- ・マルシェ直営ショップにおいて、試飲や試食を提供しながら来村客へ広域市町の商品を紹介しました。

① 物産展・展示会への出展

(全国センター等への出展)

- ・9月「福山暁の星女子中学・高等学校」県外委託販売
- ・11月「山口・防府地域工芸・地場産業振興センター」県外委託販売
- ・10月「今治地域地場産業振興センター」県外委託販売
- ・11月「備後地域地場産業振興センター」県外委託販売
- ・12月「燕三条地場産業振興センター」県外委託販売

<県内各地物産展出展参加>

- ・4月20日～21日 「岩電セレクション」出展
- ・4月29日 四十四田桜まつり
- ・6月1日～2日 東北絆まつり(福島)

- ・ 6月19日 岩手県保健推進委員協議会出展（キャラホール）
- ・ 7月11日～12日 全国地場産センター協議会総会（盛岡）
- ・ 8月31日～9月1日 岩電展示即売会 出展（岩電）
- ・ 9月11日～16日 盛岡市産業まつり 出展（川徳）
- ・ 10月17日 第41回全国公民館研修会・第64回東北地区公民館大会
出展（マリオス）
- ・ 11月5日 岩手県老人クラブ大会 出展（県民会館）
- ・ 11月13日～12月15日 盛岡りんごフェア 出展（前潟イオン）
- ・ 1月29日 盛岡コンベンションフェア 出展
- ・ 2月23日～24日 S-1スイーツフェア 出展

<県外各種物産展参加>

- ・ 7月4日～8日 盛岡デーイン東京（板橋イオン）
- ・ 8月9日～22日 青山スクエア工芸展
- ・ 11月14日～18日 盛岡デーIN 沖縄 出展
- ・ 1月8日～14日 札幌東急 出展
- ・ 2月19日～23日 モリハチ祭り in 文京区 出展(文京シビックセンター)
- ・ 2月26日～3月4日 八木橋百貨店 出展（埼玉県熊谷市）
- ・ 3月12日～16日 銀河プラザ工芸展 出展（東京都）
- ・ 3月20日～21日 まるごとにつぼん工芸展 出展（東京都）
- ・ 3月20日～23日 東北にぎわい市 出展（板橋イオン）

<常設展示>

- ・ 4月～3月 「イオン盛岡・もりおかん」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「もりおか歴史文化館」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「もりおか啄木・賢治青春館」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「つなぎ温泉観光協会」常設委託販売
- ・ 4月～3月 「らら・いわて」常設委託販売

<ギフトカタログの作成>

- ・ 6月～8月 「盛岡手づくり村・夏ギフト」
- ・ 11月～12月 「盛岡手づくり村・冬ギフト」

<ふるさと納税謝礼品の受注>

- ・ 4月～3月 254件

<イベントスペースの利用>

- ・ 12月～1月 「岩手の酒器いろいろ」 展示販売

<ロビーの活用>

- ・ 5月・8月・10・11月 岩谷堂箆笥入札会の開催

<即売室棚替えの実施>

- ・工芸品コーナー棚替え実施
- ・染物コーナー棚替え実施

<マルシェ>

- ・マルシェ立ち飲みコーナーの設置
- ・マルシェギャラリー

② インターネット「楽天市場」バーチャル産業まつり

期 間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

出品物：食品・工芸品等 約500アイテム

(2) 体験学習事業

盛岡手づくり村が持つ最も優れた機能の一つである工房の職人の技を活かした「体験学習」を実施し、国内外の観光客へ、ものづくりの喜びと楽しみを堪能していただき、盛岡地域の文化や風土と、工芸品への理解を深めて頂きました。また、従来実施している岩手県主催の東京・北海道での修学旅行誘致説明会に参加した他、新たに関西地区の説明会にも参加し、需要の開拓を図りました。「手づくり教室」は、盛岡広域の歴史と文化に根ざした手仕事の技を体験し、職人と接することができ、日本の手仕事を理解する絶好の機会であり、他の施設と違う特徴的な事業です。以下の11分野で、22コースを設け、通年実施しました。

陶器、藍染、竹細工、わら細工、木工、はたおり、こけし絵付、こま絵付
陶器絵付、木の実細工、冷麺

- ・体験学習の動向把握と、誘客宣伝活動として、旅行代理店や学校等を対象に県が主催する札幌、函館、東京の他、新たに関西地区での教育旅行誘致説明会に参加し、旅行代理店や中学校、高等学校関係者に対して来村を働き掛けました。
- ・修学旅行の事前調査に来村する学校、団体等に対して、これまでの実績や十分な情報を提供し、来村者の確保に努めました。
- ・盛岡広域圏内の小学校の誘客宣伝として、夏季、冬季の長期休業期に対応した「特別体験教室」を実施しました。また、体験種目や内容を紹介するチラシを広域圏内の全児童に配布しました。
- ・次年度に向けた、体験料金の改定を行い、体験種目について詳細に説明を加えた新たなパンフレットを作成し、全国の旅行代理店に配布しました。

(3) 展示資料室運営事業

盛岡地域地場産業の振興と理解促進を図るため、全国から訪れる来場者に対し歴史や製造工程、制作者等を資料やパネルで紹介したほか、伝統工芸品の展示紹介を行いました。

- ・展示資料の充実を図り、国内外から訪れる観光客に地場産業文化と芸術的工芸品への理解に努めました。
- ・地場産品の歴史や生産技術、生産工程、施設内工房の紹介を通して、盛岡広域圏

内の地場産品の普及宣伝を図りました。

2. 人材育成事業（伝統的工芸品産業支援補助金事業）

伝統的工芸品月間国民会議全国大会を契機に、開催地となる盛岡地域を中心とした伝統的工芸品の若手職人のネットワーク構築と商品力向上に取り組みました。

（1）若手職人交流会の開催

東北経済産業局、岩手県と連携し、伝統的工芸品月間国民会議全国大会の期間、東北6県伝統的工芸品若手職人フォーラムを開催しました。他県からも来場する伝統的工芸品職人等から、先進事例や他産地の取り組みを学ぶとともに若手職人のネットワーク形成のきっかけづくりを行いました。

日 時：令和元年11月5日（火）

会 場：岩手産業文化センターアピオ 会議場 2階 第9会議室

講師等：基調講演者 山田 遊（株メソッド）
 パネリスト 松山 昇司（津軽塗・青森県）
 佐藤 圭（南部鉄器・岩手県）
 櫻井 尚道（宮城伝統こけし・宮城県）
 加藤 尚人（川連漆器・秋田県）
 桜井 亮（天童将棋駒・山形県）
 井口 恵（奥会津編み組細工・福島県）
 ファシリテーター 金谷 克己（株エディシヨonz）

参加者：183名

（2）工芸品フォーラム

盛岡市と連携し、伝統的工芸品の認知度向上や理解促進のため、一般消費者向けに伝統的工芸品の技術技法や使用方法等をPRする若手職人座談会を開催しました。座談会終了後、若手職人作品展示、鉄瓶で沸かした白湯・コーヒーの提供等、フォーラム参加者の交流会を行いました。また、この開催内容を盛岡手づくり村ホームページで紹介し、フォーラム参加者以外にも広く伝統的工芸品の認知度向上を図りました。

日 時：令和元年8月31日（土）

会 場：盛岡地域地場産業振興センター 2階会議室研修室

講師等：パネリスト 田山 貴紘（南部鉄器）
 藤村 真紀（浄法寺塗）
 澤口 光雄（岩谷堂箆笥）
 平山 貴士（一般代表・ショップオーナー）
 ファシリテーター 小笠原 一志（HAND DESIGN）

参加者：87名

（3）専門家による現地訪問指導

盛岡市と連携し、デザインやマーケティング等の専門家である王超鷹氏を盛岡広域圏の伝統的工芸品の工房へ派遣し、意見交換を通じた事業者の技術向上支援による若手職人の人材育成を行いました。

専門家との意見交換によるインバウンド需要、中国市場の把握による今後の商品の開発及び販売の可能性が広がりました。

日 時：第1回 令和元年5月22日～24日

第2回 令和元年7月15日～17日

訪問事業所：盛岡圏内の伝統的工芸品14事業所

専 門 家：王超鷹氏（文化研究者・伝統工芸師・PAOSNET 代表）

（4）社会科見学への対応

盛岡広域内の就学児童・生徒に対し、ものづくり産業への理解とキャリア教育の推進に向けて、盛岡広域内の小学校5校の社会科見学への対応を行いました。

3. 施設賃貸事業（収益事業）

南部鉄器協同組合、自動販売機業者及びホームページでの広告宣伝等により一般の方々への施設賃貸を行い、センター運営に必要な収益の一部としました。

- ・南部鉄器協同組合へ、事務所、倉庫として貸し付けました。
- ・(株)サンベンディング盛岡、みちのくコココーラ(株)へ、自動販売機設置(10台)のため貸し付けました。

4. 販売促進事業（収益事業）

展示即売室内に地域外商品の販売スペースを設置し、収益性の高い商品の販売並びにアロニア関連商品の販売を行い収益の拡大を図りました。

① 盛岡手づくり村「マルシェ」

- ・マルシェにおいて、業界関係者の新商品の普及宣伝、広域市町の特産品の試食販売などを実施しました。また、盛岡手づくり村オリジナルアイス「なんじゅら?」、「アロニア商品」の普及宣伝に積極的に取り組みました。
- ・マルシェ内に陶芸作家の作品を展示したギャラリーを設け、作品の紹介宣伝を行いました。また、作家の作品を使ってコーヒーなどの提供を行いました。
- ・盛岡広域で作られる清酒や地ビール等と地場産品のおつまみをセットで楽しめる「立ち飲みコーナー」を設置し、外国人や県内外のお客様に好評を得ました。
- ・即売室と連携して、話題の商品をマルシェメニューに取り入れ、販売に結び付くよう工夫をしました。

② アロニア関連商品開発事業

本年度はアロニアを使用したサイダー、ゼリー、アロニアりんごジュースの販促活動を積極的に行いました。

- ・アロニア製品の製造販売、ジャム、サプリメント、ジュース等

5. 共用施設維持管理事業（その他の事業）

盛岡手づくり村を構成する、盛岡市、盛岡地域地場産業振興センター、協同組合盛岡手づくり村の三者において共有する施設の維持管理を行いました。

6. 南部曲り家地場産品普及宣伝事業（その他の事業）

国内外から訪れる観光客に対し地場産業文化への理解を得ることを目的とし、工芸品の製作実演や工芸品展示会等の企画を実施しました。

- ・国内外から来村する団体客や個人に対して、こけしや木工雑貨等の工芸品制作実演を実施し、盛岡地域の地場産品を紹介しました。

7. 地場産業普及啓発事業（その他の事業）

盛岡地域の地場産業並びに職人が製作する工芸品や地場食品等を幅広く普及啓発を図ることを目的として、盛岡市から次の事業を受託しました。

○盛岡地域ものづくり産業魅力向上事業

盛岡地域の工芸品を首都圏等において展示紹介を行い、盛岡地域で活動する工芸品事業者の工芸品製作技術向上を図るとともに、岩手山麓工芸工房の掲載情報の更新を行い、手仕事を中心とした工芸品等の事業者を支援しました。

- ・効果的な展示方法に関する研修会の実施

< 1回目 >

日 時：令和2年2月28日（金）16時～17時

会 場：地場産業振興センター展示即売室

講 師：藤村真紀（うるみ工芸）

< 2回目 >

日 時：令和2年3月9日（月）16時～17時

会 場：地場産業振興センター展示即売室

講 師：松浦清富（南部鉄器協同組合）

- ・青山スクエア「盛岡の伝統工芸品展～夏ものがたり～」の開催
会 期：令和元年8月9日～8月22日
- ・いわて銀河プラザ「盛岡の伝統工芸品展」の開催
会 期：令和2年3月12日～3月16日
- ・まるごとにつぼん「盛岡の伝統工芸品展」の開催
会 期：令和2年3月20日～3月21日
- ・岩手山麓工芸工房ホームページ掲載情報の更新
掲載内容更新 8工房

8. 交流促進事業（その他の事業）

盛岡手づくり村への集客と地域住民との交流を図ることを目的に、季節イベントを開催するとともに、他団体主催のイベントを支援して、地場製品の紹介宣伝を行いました。また、「いわて雪まつり」の盛岡会場として冬まつりを2月8日から11日までの4日間開催しました。

（1）交流促進事業・地場産業対策事業

- ・盛岡手づくり村春まつり2019（5月）
- ・盛岡手づくり村夏まつり2019（8月）
- ・盛岡手づくり村秋まつり2019（10月）
- ・盛岡手づくり村冬まつり～いわてのお酒 冬の陣～（2月）

主催：公益財団法人盛岡地域地場産業振興センター

盛岡市、八幡平市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、矢巾町

共催：協同組合盛岡手づくり村

後援：関係機関、報道関係各社

会場：盛岡手づくり村（振興センター・催し物広場・南部曲り家）

内容：盛岡広域の食と工芸フェア、郷土芸能披露、お買いあげ感謝抽選会など

* 関連業界、団体等の催事利用の推進、支援

- ・盛岡手づくり村工房まつり（9月・10月）

9. 管理運営事業（法人会計事業）

振興センターは、盛岡地域の地場産業振興及び観光拠点施設として、国内外等からの来場者に利用されています。令和元年度も、環境整備や施設維持管理等、各施設及び機能の充実を図ったほか、観光客誘致を積極的に展開しました。その他、通年で来場者へのアンケート調査を実施し、ニーズを把握するなど、事業の円滑な推進に努めたほか、小岩井農場・つなぎ温泉等周辺施設との連携協調に努めました。

また、今年度は全国地場産業振興センター協議会総会開催地センターとして全国から来県いただいた地場産業振興センター関係者に対し、盛岡広域の地場産業及び観光をPRするとともに、お互いの情報交換を図りました。更には周辺施設との連携や旅行代理店への広告宣伝など、来場者の誘致と利便性の向上に努めました。

（1）振興センター入場者への宣伝・紹介

- ・入場者等への案内・説明・誘致宣伝活動
- ・観光客、視察来訪客への案内・説明
- ・ホームページのリニューアル
- ・英語・韓国語・中国語・タイ語のパンフレットの配付

- ・ 日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語による施設案内放送の実施
- ・ 旅行代理店との提携による入場者の誘致及びパンフレット等送付
- ・ 電子掲示板を活用した観光、物産、施設等の紹介
- ・ マスメディア利用による宣伝・普及活動
- ・ 新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等への広告、情報の提供及び取材協力

(2) 理事会・評議員会の開催

開催年月日	場 所	会 議 名	会 議 内 容
令和元年6月4日	盛岡市役所	第1回理事会	平成30年度事業報告及び決算、規程の一部改正、定時評議員会の開催等
令和元年6月22日	地場産業振興センター	第1回評議員会	平成30年度事業報告及び決算、理事・監事の選任決議他
令和2年3月10日	盛岡市役所	第2回理事会	平成31年度補正予算令和2年度事業計画及び予算、規程の改正、定時評議員会の開催
令和2年3月30日	書面による決議	第2回評議員会	平成31年度補正予算、令和2年度事業計画及び予算等

(3) 職員研修の実施

- ・ 食品衛生講習会 5月23日
- ・ 働き方改革セミナー 10月24日
- ・ 経営計画作成支援セミナー1回目 10月24日
- ・ 経営計画作成支援セミナー1回目 11月21日
- ・ 助成金活用研修会 1月8日
- ・ 効果的な展示方法研修会（うるみ工芸） 2月28日
- ・ 効果的な展示方法研修会（南部鉄器協同組合） 3月9日

(4) 全国地場産業振興センター協議会総会の開催

令和元年度の全国地場産業振興センター協議会総会開催地センターとして、会場準備、出席者とりまとめ、総会資料作成、視察スケジュール作成等を行いました。

- ・ 日 時 令和元年7月11日（木）14：00～17：00 総会
- ・ 場 所 湯守ホテル大観
- ・ 参加数 21センター（41名）

- ・視 察 令和元年7月12日（金） 9：00～12：00
（盛岡手づくり村、小岩井農場）

（5）盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会の実施

盛岡広域8市町の広域経済活性化を図ることを目的に、広域市町の課長で組織する盛岡地域地場産業振興センター広域経済活性化懇談会を開催し、情報の共有・交換を行いました。（1回目：5月29日、2回目：2月13日）

（6）盛岡広域内の情報提供の実施

玄関ロビーに設置した「盛岡広域インフォメーション」を活用し、来場者に対し盛岡広域8市町の観光、行事等を紹介しました。（通年）また、首都圏で開催した工芸展においてポスターの展示、観光パンフレットの配布を行い県外のお客様に盛岡広域8市町のPRを行いました。

（7）電子掲示板による紹介

盛岡市観光交流課の事業で提供を頂いた、電子掲示板にて盛岡市の観光・物産とともに、盛岡手づくり村の紹介宣伝を行いました。

（8）施設内の環境整備の実施

- ・ 4月 一斉清掃の実施
春のプランター整備
- ・ 9月 秋のプランター整備

（9）東北6県伝統的工芸品全国大会連絡協議会の会計業務

東北6県伝統的工芸品全国大会連絡協議会から会計事務処理業務を受託し、実施しました。

（10）テレビ・ラジオ取材

- ・ 5月 3日（金）NHK ニュース「春まつり」
- ・ 5月 4日（土）テレビ岩手 ニュース「春まつり」
- ・ 5月 4日（土）めんこいテレビ ニュース「春まつり」
- ・ 5月 4日（土）岩手朝日テレビ ニュース「春まつり」
- ・ 6月 2日（日）テレビ岩手「鉄神ガンライザーぶらり旅」
- ・ 7月10日（水）ごきげんテレビ「盛岡手づくり村盛岡冷麺」
- ・ 9月11日（水）IBCテレビ「南部曲り家」
- ・ 10月29日（火）札幌テレビ「せんべい焼き体験など」

- ・ 11月29日（金）ごきげんテレビ「アロニア」
- ・ 12月13日（金）香港ユーチューバー取材「染屋たきうら」
- ・ 12月17日（火）NHK取材 「南部曲り家」
- ・ 2月12日（水）タイテレビ取材「南部せんべい体験等」

(11) 新聞・雑誌関係

- ・ 5月 3日（金）盛岡タイムス「ご当地サイダーが誕生」
- ・ 5月 3日（金）河北新報「春まつり」
- ・ 5月 4日（土）岩手日報「食と工芸楽しんで 春まつり」
- ・ 5月22日（水）読売新聞「盛岡期待の新商品アロニアサイダー」
- ・ 5月29日（水）岩手日報「盛岡栽培のアロニア果汁入りサイダー」
- ・ 6月14日（金）朝日新聞「目に良いアロニアでサイダー」
- ・ 8月17日（土）盛岡タイムス「手づくり村ハンドクラフト教室」
- ・ 8月22日（木）盛岡タイムス「工芸品フォーラム 盛岡手づくり村」
- ・ 8月25日（日）岩手日報「工芸品フォーラム 盛岡手づくり村8月31日」
- ・ 9月 2日（月）岩手日報「工芸品の魅力語る 工芸品フォーラム」
- ・ 9月 3日（火）盛岡タイムス「工芸品の仕事を知る 伝統職人座談会」
- ・ 9月16日（月）盛岡タイムス「盛岡手づくり村 今日まで工房まつり」
- ・ 9月17日（火）岩手日報「工芸品制作間近で実演 工房まつり」
- ・ 10月14日（月）盛岡タイムス「入居工房の職人展 きょうまで秋まつりも」
- ・ 1月 5日（日）盛岡タイムス「地場産品で正月に彩り 5日までフェア」